【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年2月9日(2023.2.9)

【公開番号】特開2021-129967(P2021-129967A)
【公開日】令和3年9月9日(2021.9.9)
【年通号数】公開・登録公報2021-042
【出願番号】特願2020-28375(P2020-28375)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和5年2月1日(2023.2.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
音出力手段と、
表示手段と、
発光手段と、
演出を実行可能な演出実行手段と、
を備え、
前記演出実行手段は、前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出を実行可能であり、
前記表示手段は、第１表示領域と、該第１表示領域よりも周縁寄りの第２表示領域と、を含み、
前記特定演出は、
前記表示手段が演出動画を表示し、前記音出力手段が演出音を出力し、前記発光手段が発光する演出であり、
第１期間と、該第１期間後の第２期間と、該第２期間後の期間であって、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第３期間と、を含み、
前記演出実行手段は、
前記第１表示領域において、前記演出動画を表示可能であり、
前記第２表示領域において、遊技に関する情報表示を表示可能であり、
前記第１期間において、前記第１表示領域に第１速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第２表示領域に表示可能であり、
前記第２期間において、前記第１表示領域に第１速度よりも遅い第２速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第２表示領域に表示可能であり、
前記第３期間において、
演出結果として有利態様を報知する場合、前記第２期間において前記第２表示領域に表示していた前記情報表示を表示せずに、前記第１表示領域と前記第２表示領域とを用いて該有利態様の演出結果を報知可能であり、
演出結果として不利態様を報知する場合、前記第２期間において前記第２表示領域に表示

していた前記情報表示を表示した状態で、前記第１表示領域を用いて該不利態様の演出結果を報知可能であり、
前記第１期間と前記第２期間とのいずれにおいても、前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であるとともに、前記第２期間において、前記第１期間よりも短い間隔で前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であり、
複数のキャラクタが群となって進行する画像を表示する群演出を実行可能であり、
前記群演出における画像の表示期間は、第１表示期間と、第２表示期間と、第３表示期間と、を含み、
前記第１表示期間は、前記群演出において最初のキャラクタの表示を開始してから、キャラクタの新たな表示がされ、いずれかのキャラクタの表示が最初に終了するまでの期間であり、
前記第２表示期間は、前記第１表示期間よりも長い期間であって、キャラクタの新たな表示がされ、かつ表示されているキャラクタの表示が終了する状態が継続する期間であり、
前記第３表示期間は、キャラクタの新たな表示がされることなく、表示されているキャラクタの表示が終了する状態が継続する期間である、
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
しかしながら、特許文献１にあっては、スローモーション演出において改善の余地があった。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、有利状態に制御されることを遊技者に印象付けることができる遊技機を提供することを目的とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
手段Ａの遊技機は、
可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
音出力手段と、
表示手段と、
発光手段と、
演出を実行可能な演出実行手段と、
を備え、
前記演出実行手段は、前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出を実行可能であり、
前記表示手段は、第１表示領域と、該第１表示領域よりも周縁寄りの第２表示領域と、を

含み、
前記特定演出は、
前記表示手段が演出動画を表示し、前記音出力手段が演出音を出力し、前記発光手段が発光する演出であり、
第１期間と、該第１期間後の第２期間と、該第２期間後の期間であって、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第３期間と、を含み、
前記演出実行手段は、
前記第１表示領域において、前記演出動画を表示可能であり、
前記第２表示領域において、遊技に関する情報表示を表示可能であり、
前記第１期間において、前記第１表示領域に第１速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第２表示領域に表示可能であり、
前記第２期間において、前記第１表示領域に第１速度よりも遅い第２速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第２表示領域に表示可能であり、
前記第３期間において、
演出結果として有利態様を報知する場合、前記第２期間において前記第２表示領域に表示していた前記情報表示を表示せずに、前記第１表示領域と前記第２表示領域とを用いて該有利態様の演出結果を報知可能であり、
演出結果として不利態様を報知する場合、前記第２期間において前記第２表示領域に表示していた前記情報表示を表示した状態で、前記第１表示領域を用いて該不利態様の演出結果を報知可能であり、
前記第１期間と前記第２期間とのいずれにおいても、前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であるとともに、前記第２期間において、前記第１期間よりも短い間隔で前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であり、
複数のキャラクタが群となって進行する画像を表示する群演出を実行可能であり、
前記群演出における画像の表示期間は、第１表示期間と、第２表示期間と、第３表示期間と、を含み、
前記第１表示期間は、前記群演出において最初のキャラクタの表示を開始してから、キャラクタの新たな表示がされ、いずれかのキャラクタの表示が最初に終了するまでの期間であり、
前記第２表示期間は、前記第１表示期間よりも長い期間であって、キャラクタの新たな表示がされ、かつ表示されているキャラクタの表示が終了する状態が継続する期間であり、
前記第３表示期間は、キャラクタの新たな表示がされることなく、表示されているキャラクタの表示が終了する状態が継続する期間である、
ことを特徴としている。
この特徴によれば、有利状態に制御されることを遊技者に印象付けることができる。
手段１の遊技機は、
可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに遊技者にとって有利な有利状態（たとえば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機１）であって、
演出音を出力可能な音出力手段（例えば、スピーカ８Ｌ、８Ｒ及び音声制御基板１３に搭載されている音声合成用ＩＣ０７９ＳＧ１３２、音声データＲＯＭ０７９ＳＧ１３３、増幅回路０７９ＳＧ１３４）と、
演出動画を表示可能な表示手段（例えば、画像表示装置５）と、
前記表示手段にキャラクタの演出動画を表示するとともに該キャラクタの演出動画の表示に伴って前記音出力手段により演出音を出力する所定演出（例えば、リーチ演出）を実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用ＣＰＵ１２０）と、
複数のキャラクタが群となって進行する画像を表示する群演出（たとえば、群予告演出）を実行する群演出実行手段（たとえば、図４７に示す群予告実行処理，図９４～図１００に示す６人群予告演出）と、
を備え、
前記演出実行手段は、

前記所定演出の第１期間において、演出の進行速度が第１速度である演出動画を前記表示手段に表示可能であり（例えば、図１０－１９～図１０－２５に示すように、第１リーチ演出、第２リーチ演出、第３リーチ演出、第４リーチ演出のそれぞれの前半部分実行期間中に各リーチ演出の動画が進行速度Ｖ１にて画像表示装置５に表示されている部分）、

前記第１期間よりも後の前記所定演出の第２期間において、演出の進行速度が前記第１速度よりも遅い第２速度である演出動画を前記表示手段に表示可能であり（例えば、図１０－１９～図１０－２５に示すように、第１リーチ演出、第２リーチ演出、第３リーチ演出、第４リーチ演出のそれぞれの後半部分実行期間中に各リーチ演出の動画が進行速度Ｖ２にて画像表示装置５に表示されている部分）、

前記所定演出に対応する演出音については、前記第１期間と前記第２期間とのいずれにおいても、演出音に関する速度を同一速度にて前記音出力手段により出力可能であり（例えば、図１０－１９～図１０－２５に示すように、第１リーチ演出、第２リーチ演出、第３リーチ演出、第４リーチ演出のそれぞれの前半部分実行期間中と後半部分実行期間中において、スピーカ８Ｌ、８ＲからＢＧＭや演出音等が通常の再生速度であるＶ４にて出力されている部分）、

前記群演出における画像の表示期間は、第１表示期間と、第２表示期間と、第３表示期間とを含み（たとえば、図５９に示す期間）、

前記第１表示期間は、前記群演出において最初のキャラクタの表示を開始してから、キャラクタの新たな表示がされ、いずれかのキャラクタの表示が最初に終了するまでの期間であり（たとえば、図９４（ａ２３）～図９６（ａ３０）に示す期間）、

前記第２表示期間は、前記第１表示期間よりも長い期間であって、キャラクタの新たな表示がされ、かつ表示されているキャラクタの表示が終了する状態が継続する期間であり（たとえば、図９７（ａ３１）～図９８（ａ３６）に示す期間）、

前記第３表示期間は、キャラクタの新たな表示がされることなく、表示されているキャラクタの表示が終了する状態が継続する期間であり（たとえば、図９９（ａ３７）～図１００（ａ４２）に示す期間）、

前記第１表示期間において、最初に表示されたキャラクタの一部が表示されている第１状況から、当該最初に表示されたキャラクタの一部が前記第１状況よりも表示され、かつ２番目に表示されたキャラクタの一部が表示された第２状況になる（たとえば、図５７，図９４に示す例）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、所定演出の演出動画の進行速度は第１期間と第２期間とで変化するが、所定演出に対応する演出音に関する速度は第１期間と第２期間とで変化しないので、遊技者に対して違和感を与えてしまうことを防止できる。また、より好適に群演出を実行することができる。